

代表者による全体の評価と見直し		承認	作成
実施日	2006年3月20日(月)16:00～17:00		
場所	会議室		
出席者	社長、環境管理責任者、事務局 営業部長、工事部長、運送部長、総務部長		
使用した資料	エコアクション21文書、記録、環境活動レポート、 環境負荷の自己チェックシート等		
評価	2005年4月からエコアクション21活動を開始して社員が環境に対して意識を持つようになったことは良い事だ。 結果として、省エネ、廃棄物、水等を数字でみえるようになった。 廃棄物は若干目標に達していないが、次年度は目標を達成をすること。		
見直し	環境方針はこのまま継続する。 当社の二酸化炭素排出量のトップは自動車燃料（軽油の使用）である。 来年度からは改善効果が更に的確に分かるように、現状の全体燃費だけでなく、車両別の燃費を把握し、達成度を確認する。		
指示事項	（車両別の燃費の把握について、見直しの記載事項参照） 二酸化炭素排出量の削減においては車両の効率的運用を検討すること。 廃棄物削減に関しては仕事量が増えれば増加する。従ってリサイクル率重視で取り組むこと。 法律に関してはもっと詳細に把握して抜けのないようにすること。		